

2025 (令和7) 年 3月11日(火) 145051号 (通巻)

メタル情報ネット

〒530-0043
 大阪市北区天満 2丁目 12番 3
 電話：06-6353-7831
 FAX：06-6353-7832
 E-mail：info@metalnet.jp
 購読料(税込) 外電配信料(税込)
 79,200円(12か月) 92,400円(12か月)
 39,600円(6か月) 46,200円(6か月)
 19,800円(3か月) 23,100円(3か月)

日刊 **メタルジャーナル** Metal Journal

1月生産・出荷

板・押の出荷2か月連続プラス
 はく出荷は5か月ぶりマイナス

日本アルミニウム協会

一般社団法人日本アルミニウム協会(石原美幸会長)はこのほど、2025年1月のアルミニウム圧延品生産・出荷概況を発表した。板・押出類の生産合計は12万3,735トン、前年比は5.2%で2か月ぶりのプラス。同出荷合計は12万9,493トン、同2.8%増で2か月連続のプラスとなった。

生産合計のうち板類は7万5,468トン、同5.4%増。押出類は4万8,267トン、同5.0%増。出荷合計のうち板類は7万9,862トン、同2.1%増。押出類は4万9,631トン、同3.8%増。はくは、生産が7,035トン、同2.4%増で、4か月連続のプラスだったが、出荷は7,117トン、同3.7%減で5か月

ぶりのマイナスとなった。

板は、缶材のほか、半導体製造装置向け厚板を含む「その他」がプラスとなり内需をけん引した。押出は生産・出荷ともに6か月ぶりにプラス。建設向けが6か月ぶりにプラスとなったほか自動車向けも増加した。はくは、リチウムイオン電池向けが前月のプラスからマイナスに反転した。

主な分野の概況は次の通り(出荷量、前年比)。

板類

(1)缶材30,863トン、+13.6%：

RTD系飲料の需要が好調だったことなどから、DI缶が大幅プラスとなった。

(2)自動車16,050トン、-2.0%：

国内の自動車生産台数が減少したことなどによりマイナスとなった。2024年12月の四輪車生産台数は686,264台、前年比-7.4%。(次頁につづく)

2025年1月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント	出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	75,468	5.4	3か月連続でプラス	79,862	2.1	2か月連続でプラス
押出類	48,267	5.0	6か月ぶりにプラス	49,631	3.8	6か月ぶりにプラス
板押計	123,735	5.2	プラスに反転	129,493	2.8	2ヶ月連続でプラス
はく	7,035	2.4	4ヶ月連続でプラス	7,117	▲3.7	5ヶ月ぶりにマイナス

2025年 1月 実績

(単位：トン)

区分	生産				出荷				在庫			
	板類	押出類	合計	はく	板類	押出類	合計	はく	板類	押出類	合計	はく
2025年 1月	75,468	48,267	123,735	7,035	79,862	49,631	129,493	7,117	51,283	8,664	59,947	4,344
2024年 12月	85,356	51,572	136,928	7,706	85,365	52,617	137,982	8,238	55,891	9,155	65,046	4,426
前月比%	-11.6	-6.4	-9.6	-8.7	-6.4	-5.7	-6.2	-13.6	-8.2	-5.4	-7.8	-1.9
前年同月比%	5.4	5.0	5.2	2.4	2.1	3.8	2.8	-3.7	10.3	-1.0	8.9	-5.7

年、月別	生産												出荷合計	在庫	はく		
	板	円板	条	板類計	管	棒	形	線	押出類計	生産合計	生産	出荷			在庫		
2024年 1月	9,997	566	61,029	71,592	2,487	3,166	39,107	1,215	45,975	117,567	126,010	55,069	6,871	7,388	4,609		
2月	11,597	667	79,416	91,680	2,651	4,179	42,872	1,234	50,936	142,616	137,680	60,923	7,595	7,636	4,603		
3月	11,328	709	75,062	87,099	2,812	4,276	44,109	1,297	52,494	139,593	140,878	60,329	7,804	7,885	4,626		
4月	11,239	707	76,921	88,867	2,721	4,016	44,642	1,239	52,618	141,485	142,513	60,153	7,721	7,703	4,648		
5月	10,503	721	79,156	90,380	2,711	3,704	42,000	1,534	49,949	140,329	141,892	58,897	7,382	7,556	4,477		
6月	11,816	806	78,393	91,015	2,717	3,925	45,738	1,380	53,760	144,775	144,944	59,656	7,982	7,809	4,655		
7月	11,715	850	80,468	93,033	2,788	4,297	49,546	1,440	58,071	151,104	150,706	60,955	8,257	8,169	4,517		
8月	9,208	641	63,120	72,969	2,214	3,471	36,946	967	43,598	116,567	119,119	59,007	6,679	6,910	4,517		
9月	11,728	791	73,974	86,493	2,861	3,872	44,811	1,389	52,933	139,426	139,325	59,831	8,061	8,653	3,927		
10月	12,221	873	79,239	92,333	3,036	4,482	48,613	1,420	57,551	149,884	151,077	59,412	9,057	8,454	4,542		
11月	10,977	862	79,798	91,637	2,810	4,117	46,104	1,320	54,351	145,988	140,839	65,264	8,674	8,264	4,955		
12月	10,150	822	74,384	85,356	2,700	3,788	43,954	1,130	51,572	136,928	137,982	65,046	7,706	8,238	4,426		
2025年 1月	10,012	656	64,800	75,468	2,551	3,743	40,596	1,377	48,267	123,735	129,493	59,947	7,035	7,117	4,344		
前年同月比(%)	0.2	15.9	6.2	5.4	2.6	18.2	3.8	13.3	5.0	5.2	2.8	2.4	-3.7				
2025.1 - 2025.1	10,012	656	64,800	75,468	2,551	3,743	40,596	1,377	48,267	123,735	129,493	-	7,035	7,117	-		
2024.1 - 2024.1	9,997	566	61,029	71,592	2,487	3,166	39,107	1,215	45,975	117,567	126,010	-	6,871	7,388	-		
前年同期比(%)	0.2	15.9	6.2	5.4	2.6	18.2	3.8	13.3	5.0	5.2	2.8		2.4	-3.7			
2024.4 - 2025.1	109,569	7,729	750,253	867,551	27,109	39,415	442,950	13,196	522,670	1,390,221	1,397,890	-	78,554	78,873	-		
2023.4 - 2024.1	100,253	6,402	750,950	857,605	26,324	39,388	455,535	13,191	534,438	1,392,043	1,402,825	-	79,560	80,259	-		
前年同期比(%)	9.3	20.7	-0.1	1.2	3.0	0.1	-2.8	0.0	-2.2	-0.1	-0.4		-1.3	-1.7			

押出類


- (1)建設26,980トン、+3.6%：
前年の数値が低かったこともあり6か月ぶりにプラスとなった。2024年12月の住宅着工戸数は62,957戸、前年比-2.5%。
- (2)自動車10,912トン、+4.5%：
部品向け、熱交換器向けが前年増となりプラス。

はく

- (1)電気機械器具3,720トン、-3.6%：
リチウムイオン電池は世界的なEV需要の低迷が続いており2桁マイナスとなった。コンデンサは+7.2%、リチウムイオン電池は-11.8%。
- (2)食料品1,601トン、-0.6%：
各種商品の値上がりによる需要低迷が続いている。

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



2月のアルミ概況及び3月の見通し (3)

予想レンジ

LME 現物後場買い **2,500-2,700ドル** ☁

スクラップ **据え置き~-5円** ☔
(前月最終価格より)

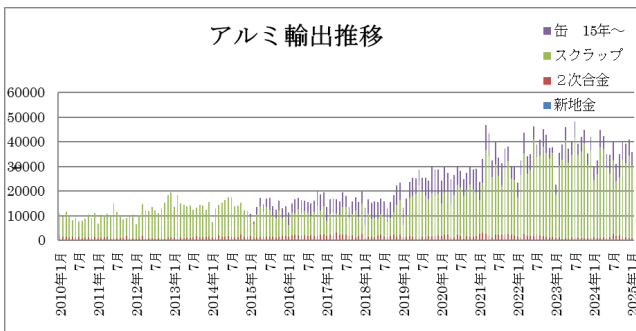
為替 **145円~155円** 円高
(1か月間TTM)

■貿易指標

◆輸出

新地金	-20.9%	269 t
二次合金	-7.58%	731 t
スクラップ	-21.5%	2万9,494t
アルミ缶	+8.3%	5,479 t

輸 出	1 1月	1 2月	1 月
新地金	478 t	309 t	269 t
前年比	+28.5%	+18.3%	-20.9%
二次合金	643 t	668 t	731 t
前年比	+6.8%	-15.8%	-7.5%
スクラップ	3万282 t	3万3641 t	2万9494 t
前年比	+40%	-5.3%	-21.5%
缶	7971 t	6376 t	5479 t
前年比	+76.8%	+18.1%	+8.3%

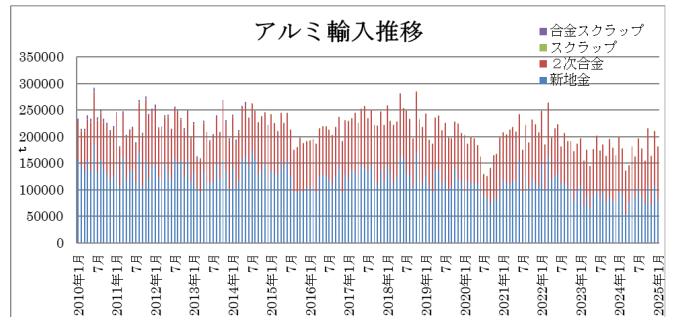


出典 財務省貿易統計

◆輸入

新地金	-16.5%	8万596 t
二次合金	-3.4%	9万9,934 t
スクラップ	+61.3%	780 t
合金スクラップ	-7.4%	7,649 t

輸 入	1 1月	1 2月	1 月
新地金	7万1645 t	10万9285 t	8万596 t
前年比	-9.4%	+41.5%	-16.5%
二次合金	9万1554 t	10万509 t	9万9934 t
前年比	-7.6%	+14.5%	-3.4%
スクラップ	863 t	983 t	780 t
前年比	+76.5%	+65.5%	+61.3%
合金スクラップ	7221 t	7261 t	7648 t
前年比	-21.2%	-16.7%	-7.4%



出典 財務省 貿易統計

■国内概況まとめ

◆自動車生産

生産動態統計によると、1月の自動車生産台数は、前年比+18.2%の64万8,550台。

輸出は、前年同月比+3.2%の28万9,623台。

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、2月の自動車販売台数(軽除く)は、前年比+15.9%の26万2,755台。

◆住宅着工戸数

1月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比4.6%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.2%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は56,134戸

前年同月比4.6%減、9か月連続の減少

○新設住宅着工床面積は4,273千㎡

前年同月比4.9%減、9か月連続の減少

○季節調整済年率換算値では774千戸

前月比1.2%減、先月の増加から再びの減少

(「2月のアルミ概況及び3月の見通し」つづく)



JOGMECカレント・トピックス

2024LMEウィークから
中長期的な金属動向 ⑤

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)がこのほど公表したカレント・トピックス「2024年LMEウィークを振り返る」。ロンドン事務所、阿部香織氏の報告(要約)の最終回。

3. Benchmark社による2030年までの金属見通し

2024年10月2日に開催されたBenchmark社が主催するBenchmark World Tour Londonでは、バッテリーのサプライチェーンにおける持続可能性、E-Mobilityセクターにおける銅の役割、鉱業企業による事業紹介などの報告が行われ、最後にBenchmark社のアナリストによるバッテリーメタル(ニッケル、コバルト、リチウム)の将来の課題と機会についての分析が発表された。同社Adam Webb氏による「短期的な痛み、長期的な利益: バッテリーメタル市場の見通し(Short-Term Pain, Long-Term Gain: The Outlook for Battery Metals)」と題された報告の概要をまとめた。

バッテリーメタル市場は短期的には大幅な価格下落を経験しているが依然として長期的な成長は可能だ。2023年1月~2024年10月までに硫酸ニッケルの価格は33%、コバルトは37%、炭酸リチウムの価格は85%下落。市場心理は弱気だが、主要な需要要因であるLIB(リチウムイオン電池)産業、特にEV市場の成長は続いている。世界最大のEV市場である中国では、2024年8月のEV販売が前年比32%増加し、欧米での低成長を相殺。プラグインハイブリッド車(PHEV)の市場シェアが過去1年間で32%から44%に拡大している。

PHEVは純電気自動車(BEV)に比べ小型のLIBを使用するため、需要を抑える可能性がある。全体としてLIB需要は2024年と比較して2030年には21%成長すると予測されている。この堅調な需要見通しにより、現在の価格低迷にも関わらず、バッテリーメタルの相場は長期的には強気である。

ニッケル価格は、需要に加えて、使用される電池の種類にも大きく左右される。ニッケルを必要としないリン酸鉄リチウム(LFP)電池は特に中国で大きく普及しており、市場シェアは2020年の20%から現在では約50%にまで拡大し、ニッケル需要を減少させている。一方、ニッケルを多く含むNCM(ニッケル・コバルト・マンガン)電池は、依然として市場で約40%のシェアを維持しており、今後も拡大が予想されている。短・中期的には、ニッケル市場は供給過剰に直面しており、価格は18,000US\$/tを超えることはないかと予測する。低価格の環境で、一部の豪州の生産者は操業を停止し、需給ギャップが発生して価格が回復するまでは再稼働はしない可能性が高い。

コバルトは、2023年から2030年にかけて、主にLIB需要による年平均10%の需要成長率が見込まれている。コバルト需要はEV市場に依存しており、その傾向は今後も続く。供給サイドでは、近年の生産は中CMOC社(洛陽栾川钼業集团

股份有限公司)が所有する2023年に稼働したDRコンゴKisanfu鉱山により牽引されている。2024年だけでも、コバルト供給は33千t増加すると予測されているが、そのうち23千tは同鉱山からのものである。さらに、同じくCMOC社が所有するDRコンゴTenke Fungurume鉱山から8千tの供給があり、CMOC社が2024年の供給増加のほぼ全体を担っていると言える。今後は、同鉱山に匹敵する規模のプロジェクトがないため、コバルト供給の成長ペースは鈍化すると予想される。市場バランスと価格に関しては、コバルトはニッケルと似た動きををすると思われ、短・中期的には供給過剰が価格を抑制すると思われる。しかし、供給量減少と需要拡大の継続により、2028年までに供給不足に転じ、2030年代には価格は40,000US\$/tを超える可能性が高い。

リチウム市場は最も弱気なものだが、需要サイドでは、リチウムはバッテリーメタルの中では最も強気である。現在から2030年にかけてのリチウム市場の年平均成長率(CAGR)は17%に達すると予想され、これは主にEVとエネルギー貯蔵システム(ESS)セクターによって牽引される。こうした長期的な需要にもかかわらず、供給サイドはプレッシャーを感じ始めており、(価格水準で)採算がとれず、鉱山閉鎖の危機にさらされる。これが、豪州や中国南部ですでに鉱山の閉鎖が見られる理由のひとつである。価格低迷が続くと、生産抑制に動き、それが価格を下支えする。リチウム価格は底値に近づいている可能性が高く、今後は他の金属と同じく短期的には供給過剰が予想され、価格上昇は限定的である。2025年までには、平均価格は10,000US\$/t前後で推移し、2027年から2028年にかけては市場が供給不足に転じることが予想され、価格を上昇させると予測する。

全体として現在様々な課題があるにも関わらず、バッテリーメタルに対する長期的な需要は強く、短期的には供給過剰だが、長期的には供給不足になる可能性が高い。鉱山の開発と生産開始には数年かかることから、新規生産能力への投資が近い将来に必要とされていると分析する。

おわりに

2024年のLMEウィークでは、2023年に引き続きエネルギー転換に必要な銅が最も注目を集めていた。LME Week直前に発表された米国連邦準備制度理事会による政策金利の誘導目標の引き下げや、中国の最新の景気刺激策(金利引下げ、銀行への資金供給、株式への流動性支援、住宅購入規制の緩和など)のニュースなどにより、欧米の需要が低迷していた2023年に比べて、参加者心理はやや改善した。

パネルや報告で登壇者たちが市場動向を語る際には不確実性(uncertainty)という言葉を度々使用しており、短期的な市場予測が困難な現状がうかがえ、各コンサルティング企業のアナリストたちも2025年の価格予測をするのではなく中長期的な見通しを報告していた。

不確実性の要因としては、主に中国の経済成長とEV市場の成長鈍化、不安定な国際情勢によるサプライチェーンの混乱(米中対立、露のウクライナ侵略、中東情勢など)、生産コスト増大、急速な技術進歩による特定(次頁につづく)

鋳物の代替可能性(LIBに代わりナトリウムイオンバッテリーの開発が進む可能性)などが挙げられた。

全体として、中国の需給に市場が左右された時期を過ぎて、より多くの要因が市場に変化を与えるようになり、脱

グローバル化(deglobalization)が進む中で各国・地域ごとに異なるエネルギー転換を実行し、サプライチェーンの強化をしなければならないという認識が共有されていた。

(おわり)

故銅市況

前週末8日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の9,654.00ドルより10.00ドル高の9,664.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,747.77ドルより139.14ドル安の9,608.63ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,647.00ドルより13.00ドル高の9,660.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,734.00ドルより120.50ドル安の9,613.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場5月限は、前営業日の480.75セントより9.75セント安の471.00セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場4

月限は、前営業日の7万8,110元より590元高の7万8,700元。

週明け10日の東京為替市場TTSレートは、前週末149.07円より0.69円の円高ドル安、1ドル=148.38円。8日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,664.00ドル。この値と10日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の147万7,000円より6,000円安の147万1,000円。この日、電気銅建値は148万円に据え置かれた。

為替動向

7日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0050ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0860ドル~1.0870ドルで推移した。この日、ブルームバーグ通信は関係者の話として「ロシアがウクライナとの条件付き停戦に合意する用意がある」と伝え、ユーロ買いドル売りを促した。英ポンドも対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0040ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2920ドル~1.2930ドルで推移した。

7日のニューヨーク外国為替市場で円相場は小幅ながら3営業日ぶりに反落。前日と比べ0.05円の円安ドル高、1ドル=148.00円~148.10円で取引を終えた。この日、FRBのパウエル議長は講演の中で「(金融の政策変更を)急ぐ必要はない」と話し、改めて米国の関税強化などの影響を丁寧に見極める姿勢を示した。同時に足元の米経済については堅調との認識を示しドル買いを促した。

10日午前の東京外国為替市場で円相場は堅調に推移。10時、前週末17時と比べ0.41円の円高ドル安、1ドル=147.26円~147.27円だった。国内債券市場で長期金利が2009年6月以来の1.550%まで上昇。日米の金利差縮小が意識され円買いドル売りを支援した。円は対ユーロで下げ幅を縮小。10時、前週末17時と比べ0.09円の円安ユーロ高、1ユーロ=160.01円~160.04円で推移した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(3月6日更新)

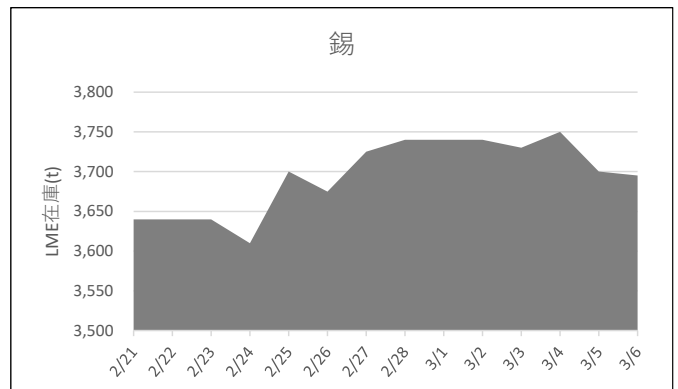
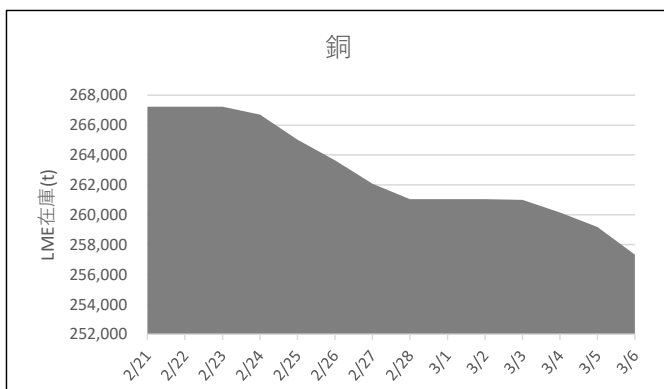
直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1066~1071、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1043~1048、並銅は996~1001、込銅(高品位=約97%)は986、セパは772~777。コーベルは要り用筋で749、それ以外は741ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋726、それ以外713~718どころの値頃。並青銅鋳物削粉は839~844どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1058~1063、上銅新くずが1035~1040、普通上銅が1031~1036、2号銅線が1024~1029、並銅が988~993、込銅(94-97%)が978、込銅(90-93%)が974、下銅が965~970、セパが764~769、コーベルが736~741、黄銅棒地が718~723、黄銅削粉が713~718、黄銅ラジが607~612、交叉ラジが642~647、黄銅銅鋳物が686~691、送りが388~393、上青銅鋳物が844~849、並青銅鋳物が843~848、上青銅鋳物削粉が839~844、並青銅鋳物削粉が831~834どころ。

LME認定倉庫在庫量推移

2月21日~3月6日(現地)





▶LME銅相場は続伸 直物終値は9,608.93ドル ▶COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は続伸
 ▶LME非鉄相場はまちまち 直物終値は亜鉛2,851.99ドル、アルミ2,720.21ドル

8日朝入電した海外相場はLME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、7日入電の9,654.00ドルより10.00ドル高の9,664.00ドル。4営業日の続伸で3.24%高。この週3.21%上伸。3月に入り3.21%上伸。3か月物の前場売値も7日入電の9,647.00ドルより13.00ドル高の9,660.00ドル。5営業日の続伸で3.02%高。この週3.02%の上伸。3月に入り3.02%の上伸。LME公認倉庫の現地6日銅在庫は、前日の25万9,325トンより1,850トン減の25万7,325トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場3月限は、7日入電の477.90セントより9.60セント安の468.30セント。3営業日ぶりに反落して2.01%安。この週3.73%の上伸。3月に入り3.73%の上伸。4月限も、7日入電の478.65セントより9.80セント安の468.85セント。3営業日ぶりに反落して2.05%安。この週3.56%の上伸。3月に入り3.56%の上伸。

SHFE(上海期貨交易所)の銅相場3月限は、7日入電の7万8,170元より450元高の7万8,620元。2営業日の続伸で2.14%高。この週2.30%の上伸。3月に入り2.30%の上伸。4月限も、7日入電の7万8,110元より590元高の7万8,700元。2営業日の続伸で2.06%高。この週2.19%の上伸。3月に入り2.19%の上伸。

錫は続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、7日入電の3万2,050.00ドルより310.00ドル高の3万2,360.00ドル。5営業日の続伸で3.22%高。この週3.22%の上伸。3月に入り3.22%の上伸。3か月物の前場売値も、7日入電の3万2,105.00ドルより455.00ドル高の3万2,560.00ドル。2営業日の続伸で1.99%高。この週3.68%の上伸。3月に入り3.68%の上伸。LME公認倉庫の現地6日錫在庫は、前日の3,700トンより5トン減の3,695トン。

鉛は反落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、7日入電の2,021.00ドルより16.00ドル安の2,005.00ドル。4営業日ぶりに反落して0.79%安。この週1.24%の上伸。3月に入り1.24%の上伸。3か月物の前場売値も、7日入電の2,042.00ドルより17.00ドル安の2,025.00ドル。4営業日ぶりに反落して0.83%安。この週0.95%の上伸。3月に入り0.95%の上伸。LME公認倉庫の現地6日鉛在庫は、前日の20万7,325トンより1,125トン減の20万6,200トン。

亜鉛も反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、7日入電の2,888.00ドルより37.50ドル安の2,850.50ドル。3営業日ぶりに反落して1.30%安。この週2.98%の上伸。3月に入り2.98%の上伸。3か月物の前場売値も、7日入電の2,922.00ドルより44.00ドル安の2,878.00ドル。3営業日ぶりに反落して1.51%安。この週2.82%の上伸。3月に入り2.82%の上伸。LME公認倉庫の現地6日亜鉛在庫は、前日の16万0,950トンより775トン減の16万0,175トン。

アルミも反落 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、7日入電の2,709.00ドルより16.00ドル安の2,693.00ドル。4営業日ぶりに反落して0.59%安。この週2.10%の上伸。3月に入り2.10%の上伸。3か月物の前場売値も、7日入電の2,698.00ドルより15.50ドル安の2,682.50ドル。4営業日ぶりに反落して0.57%安。この週2.44%の上伸。3月に入り2.44%の上伸。LME公認倉庫の現地6日アルミ在庫は、前日の51万5,600トンより4,700トン減の51万0,900トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が7日入電の2,509.00ドルより1.00ドル安の2,508.00ドル。4営業日ぶりに反落して0.04%安。この週6.63%上伸。3月に入り6.63%上伸。3か月物の前場売値は、7日入電より横ばいの2,459.00ドル。この週7.15%の上伸。3月に入り7.15%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金 (NASAAC) 相場の前場売値は、7日入電より横ばいの2,400.00ドル。この週横ばい。3月に入り横ばい。3か月物の前場売値も、7日入電より横ばいの2,400.00ドル。この週横ばい。3月に入り横ばい。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、7日入電の1万5,990.00ドルより60.00ドル高の1万6,050.00ドル。2営業日の続伸で2.39%高。この週3.82%の上伸。3月に入り3.82%の上伸。3か月物の前場売値も、7日入電の1万6,180.00ドルより90.00ドル高の1万6,270.00ドル5営業日の続伸で3.80%高。この週3.80%の上伸。3月に入り3.80%の上伸。LME公認倉庫の現地6日ニッケル在庫は、前日の19万9,410トンより888トン減の19万8,522トン。

LME公示価格(US\$)／3月7日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,664.00	32,360.00	2,005.00	2,850.50	2,693.00	2,508.00	2,400.00	16,050.00
	前営業日比	10.00	310.00	▲ 16.00	▲ 37.50	▲ 16.00	▲ 1.00	0.00	60.00
	週間増減比	3.21%	3.22%	1.24%	2.98%	2.10%	6.63%	0.00%	3.82%
先物	公示価格	9,660.00	32,560.00	2,025.00	2,878.00	2,682.50	2,459.00	2,400.00	16,270.00
	前営業日比	13.00	455.00	▲ 17.00	▲ 44.00	▲ 15.50	0.00	0.00	90.00
	週間増減比	3.02%	3.68%	0.95%	2.82%	2.44%	7.15%	0.00%	3.80%

海外非鉄金属相場

(3月8日 入電・現地 3月7日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
 錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
 セツルメント=現物・前場・売

	前場買値	前場売値	終値	出来高
銅 A G				
現物	9,662.00	9,664.00	9,608.63	
前日比	9.00	10.00	▲ 139.14	
先物	9,658.00	9,660.00	9,613.50	166,603
前日比	12.00	13.00	▲ 120.50	▲ 49,695

錫 H G				
現物	32,340.00	32,360.00	32,441.50	
前日比	340.00	310.00	▲ 16.50	
先物	32,540.00	32,560.00	32,519.00	5,508
前日比	445.00	455.00	▲ 62.00	▲ 1,668

鉛				
現物	2,004.00	2,005.00	2,000.10	
前日比	▲ 16.00	▲ 16.00	▲ 29.10	
先物	2,024.00	2,025.00	2,019.00	68,895
前日比	▲ 16.00	▲ 17.00	▲ 28.50	1,474

亜鉛 S H G				
現物	2,850.00	2,850.50	2,851.99	
前日比	▲ 37.00	▲ 37.50	▲ 44.91	
先物	2,877.00	2,878.00	2,886.50	110,336
前日比	▲ 43.00	▲ 44.00	▲ 42.50	▲ 7,467

アルミ H G				
現物	2,692.50	2,693.00	2,720.21	
前日比	▲ 15.50	▲ 16.00	11.82	
先物	2,682.00	2,682.50	2,705.50	217,371
前日比	▲ 14.00	▲ 15.50	8.50	▲ 7,467

アルミ合金				
現物	2,498.00	2,508.00	2,507.50	
前日比	▲ 1.00	▲ 1.00	▲ 1.75	
先物	2,449.00	2,459.00	2,459.00	0
前日比	0.00	0.00	0.00	0

北米特殊アルミ合金				
現物	2,390.00	2,400.00	2,400.00	
前日比	0.00	0.00	0.00	
先物	2,390.00	2,400.00	2,400.00	0
前日比	0.00	0.00	0.00	0

ニッケル				
現物	16,040.00	16,050.00	16,291.96	
前日比	65.00	60.00	207.39	
先物	16,265.00	16,270.00	16,504.00	126,955
前日比	90.00	90.00	206.00	37,287

NY コメックス相場					
出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント					
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント					
	銅HG	金	銀	プラチナ	パラジウム
3月限	468.30	2904.7	3254.8	961.6	945.80
4月限	468.85	2914.1	3264.7	966.5	946.00
5月限	471.00	2928.2	3280.9	972.2	951.50
6月限	473.25	2942.9	3296.9	-	955.50
7月限	475.60	2955.1	3311.0	979.9	-
前日比	▲ 9.60	▲ 11.9	▲ 51.5	▲ 13.2	3.80
出来高	64,394	254,449	60,478	33,273	3,122

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

為替相場	LME (円ベース/キロ)						COMEX	上海			
ドル・円	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	ニッケル	銅	アルミ	亜鉛	鉛	ニッケル
TTS	9664	32360	2005	2851	2693	16050	468	78620	20860	24065	17435
148.38	1475	5002	335	463	420	2581	1579	1624	431	497	360
-0.69	▲ 6	24	▲ 4	▲ 7	▲ 4	▲ 2	▲ 38	▲ 11	▲ 4	▲ 3	▲ 2

フリー・マーケット		
■米国生産者価格(地金)		
銀(セント/オンス) EH社	3230.0	(▲ 20.0)
銀(セント/オンス) HH社	3222.1	(▲ 50.4)

■NY相場		
取引業者銅(セント/ポンド)	-	-
2号銅線くず(セント/ポンド)	-	-

■ロンドン相場(ドル)			
金(オンス)	2931.15	(8.95)	
アンチモン99.65%(トン)	57000	-	62000
ビスマス99.9%(ポンド)	15.00	-	20.00
カドミウム99.99%(ポンド)	2.00	-	2.20
インジウム99.99%(キロ)	365.00	-	410.00
セレンウム99.5%(ポンド)	17.00	-	18.00
スポンジチタン99.5%(キロ)	14.00	-	14.00
フェロモリブデン欧州産65%(キロ)	51.50	-	51.50
コバルトカソード99.8%(ポンド)	10.00	-	10.00
マグネシウム中国産99.9%(トン)	3800	-	3850
タングステンAPT(純分10キロ)	355.0	-	390.0
タンタル鉱石30-35%(ポンド)	90	-	90

■K L T M 錫 (MYR/KG、出来高トン)			
	(7日)	(10日)	
相場	-	-	
出来高	-	-	
ドル建て価格	-	-	
¥/M\$(OD)	33.371	33.371	
M\$/US\$(OD)	4.435	4.418	
採算円/キロ	-	-	
US\$採算円/キロ	-	-	

■LME在庫(トン)			
	在庫	増減	
(3/6現在)	銅 257,325	▲ 975	
	錫 3,695	▲ 50	
	鉛 206,200	▲ 1,075	
	亜鉛 160,175	▲ 375	
	アルミ 510,900	▲ 4,275	
	アルミ合金 1,560	-	
	北米特殊アルミ合金 220	-	
	ニッケル 198,522	4,890	

■上海在庫(トン)			
	在庫	増減	
(3/7現在)	銅 267,376	▲ 961	
	アルミ 224,802	▲ 9,729	
	亜鉛 78,331	▲ 1,060	
	鉛 59,550	374	
	ニッケル 30,152	▲ 763	

■LMEプレマーケット(ドル)			
	先物気配		
(3/10)	銅 9,590.0	-	9,591.5
(5:00PM現地)	錫 32,435.0	-	32,595.0
	鉛 2,026.0	-	2,027.0
	亜鉛 2,881.5	-	2,883.5
	アルミ 2,700.5	-	2,701.5
	ニッケル 16,425.0	-	16,435.0

■上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込					
	銅	アルミ	亜鉛	鉛	ニッケル
3月限	78620	20860	24065	17435	129620
4月限	78700	20885	24060	17475	130010
前日比	450	55	145	95	2170
出来高	16230	6420	2615	295	1536

※10日のKLTMは入電がありません。

非鉄金属製品相場

(3月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1830	1845	亜鉛板0.3×3×7	680	680	V V F	
建築用0.3ミリ	1880	1895	印刷用亜鉛板トッパン用	720	720	2C×1.6	69~71
銅大板2×1×2	1960	2045	給水管13ミリ	245	245	2C×2.0	120~123
銅管(ベース)	1890	2045	鉛板1.5ミリ	575	575	3C×1.6	127~130
水道用管(m当たり)13ミリ	1860	2015	鉛線3ミリ	405	405	3C×2.0	174~177
銅棒25ミリ	1740	1815	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1795	1860	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	40.9~43.3
銅線0.9ミリ	1820	1875	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	113~120
銅帯6×50	1700	1815	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	281~298
銅平角線	2020	2045	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1475	1490	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	2158~2288
〃 0.3ミリ	1505	1520	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	3342~3543
黄銅大板2×1×2	1625	1670	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	5601~5938
黄銅管	1955	2060	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	3367~3558
復水器用黄銅管	1925	2030	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4766~5037
黄銅棒快削25ミリ	1220	1260	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)	
六角棒	1250	1290				3C×2	158-162
四角棒	1280	1320	貴金属(一般小口向け)			4C×2	212-217
鍛造用	1260	1300	白金(グラム)	◆ 5121		6C×2	305-311
ネーバル	1360	1400	パラジウム(グラム)	◎ 5087		7C×2	349-357
高力	1360	1400	金(グラム)	◎ 15258		合金鉄 12月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1660	1670	銀(キログラム)	◆ 173580		フェロマンガ2%以上炭素含有	149
黄銅平角線ロール仕上	1860	1880				〃 その他	221.9
黄銅条1.5×100	1470	1505	レアメタル輸入価格	12月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上	228
リン青銅板一般用1.0ミリ	2510	2500	金属ケイ素(99.99%未満)	310		フェロクロム4%以上炭素含有	259
〃 バネ用0.3ミリ	2720	2720	モリブデン酸化物	5564		フェロモリブデン純分60%以上	5287
リン青銅棒25ミリ	2570	2580	タンタル	89721		フェロバナジウム	2918
リン青銅線3ミリ	2990	3000	マグネシウム	390		フェロニッケル33%未満	486.1
洋白板一般用1.0ミリ	3220	3370	コバルト	4681		電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3270	3440	インジウム	20742			

減摩合金 3月3日改定

(500kg以上、大口価格)	
1種	6240
2種	6240
3種	6200
4種	5595
5種	4635
7種	2495
8種	2450
9種	1850

銅合金地金 3月3日発表

(標準価格)	大阪
BC 1種	1470
2種	1860
3種	1955
6種	1645
7種	1735
YBSC 3種	1295
LBC 3種	1875
PBC 2種	1980



非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1480(6) 金 13,816(10)
 () 実施日 電気鉛 360(3) 銀 156,330(10)
 電気亜鉛 484(6) 錫(99.99%) 6,400(3)

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (3月10日調べ) インジウム 大口~小口(99.99%) 55,000 ~ 63,000(1)

非鉄原料 (炉前材) 1トン以上外税持込		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場
				高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1338	1338	電 気 銅	◆1428	◆1423	◆1430	◆1425
2 号 銅 線	1296	—	電 気 亜 鉛	453	447	453	447
上 銅 (新 切)	1309	1305	蒸 留 亜 鉛	441	435	441	435
雑 ナ ゲ ッ ト	1139	1138	再 生 日 本 産 亜 鉛 2 種	381	375	381	375
並	1251	1236	再 生 亜 鉛 (98%)	336	330	336	330
下	1232	1207	電 気 鉛	340	337	340	337
銅 削 粉	1212	1207	再 生 鉛 1 号	322	312	323	318
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	327	325	328	324
新 切 黄 銅 セ バ	971	982	錫 1 号	4900	4850	4900	4850
コ ー ペ ル	935	938	ア ン チ モ ン	7650	7600	7650	7600
黄 銅 棒 地	913	926	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	2450	2400	2450	2400
黄 銅 削 粉	907	921	コ バ ル ト	4500	4200	4500	4200
並 黄 銅	865	846	セ レ ニ ウ ム	5300	5100	5300	5100
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	774	758	ビ ス マ ス	◎6400	◎6300	◎6400	◎6300
交 叉 ラ ジ エ タ ー	813	797	カ ド ミ ウ ム	950	900	950	900
黄 銅 鋳 物	870	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	420	400	420	400
山 送 り (55%)	500	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	467	463	469	465
上 青 銅 鋳 物	1061	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	393	388	393	388
並 青 銅 鋳 物	1059	1051	〃 90 %	340	335	340	335
上 青 銅 鋳 物 削 粉	1054	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	478	473	481	476
並 青 銅 鋳 物 削 粉	1044	1035	鋳 物 用 C2BS	503	498	505	500
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1338	青 銅 合 金 地 金 3 種	1930	1920	1955	1945
〃 (鋳 物)	1175	—	〃 6 種	1620	1610	1640	1630
リ ン 青 銅 削 粉	1093	1089	ハ ン ダ 錫 60 %	3785	3745	3805	3775
新 切 洋 白 (電 子 材)	1105	1096	〃 50 %	3280	3230	3300	3270
新 切 亜 鉛	268	268	〃 40 %	2835	2775	2790	2760
日 本 産 亜 鉛	192	192	減 摩 合 金 2 種	5635	5605	5640	5610
上 鉛	171	181	〃 4 種	4915	4890	4920	4890
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	208	206	〃 7 種	1940	1890	1940	1890
活 字 鉛	89	89	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8 ス テ ン レ ス 新 切	60	60	
新 切 ア ル ミ 1 級	219	216	〃	ダ ラ イ 粉	45	45	
新 切 サ ッ シ 1 級	317	320	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316	230	230		
新 切 合 金 1 級	315	318	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310	340	340		
機 械 鋳 物 1 級	308	303	13 ク ロ ー ム 新 切	28	29		
ピ ス 付 サ ッ シ P	240	248	ハ イ ス 9 種	165	165		
合 金 削 粉 P	267	272					
込 ガ ラ P	194	198					
カ ン ・ バ ラ	159	161					
	252	245					

